2013年（平成25年）3月 4日(月曜日)
（NO，11272） 大安（旧 1月23日）
夕刊 矢祭
夕刊矢祭新聞社 日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊） 月額1，000円
矢祭町東舘字桃木町42−2 発行人 菊池正典 ☎46−3508 昭和57年12月6日第3種郵便物認可

「子ども司書」第四期生 二十四年度講座修了の十名に認定証

図書館子どもサポーター誕生

第四期「矢祭子ども司書」講座の認定式は、三日午前十時から矢祭もったいない図書館において受講生と保護者、来賓らが出席して開いた。

古張金一教育長開式のことばで始まり、古張允町長が十人に子ども司書認定証を授与した。

古張町長が「これから成長するうえで本は頭の栄養になります、本を読む楽しさを広めてくれる役割に期待しております」と挨拶した。

子ども読書の街づくり推進委員長の菊池清文議長が来賓祝辞を述べ、ノンフィクション作家柳田邦男氏、桜の聖母短期大学講師佐野滋氏からのメッセージが紹介された。

次に生涯学習グループ下重淳子さんが講座修了報告、子ども司書を代表して茂木菜々美さん（内川小四年）大木夢乃さん（東舘小四年）菊池奏穂さん（石井小四年）が子ども司書講座で学んだことや感想、思い出を発表した。

次に読書推進リーダーとして四十回もの活動実績をあげた近藤葵さん（下関河内小六年）に古張教育長が表彰状を贈呈した。

また子ども司書講座を修了し認定証を授与された十人は、もったいない図書館子どもサポーターとして藤井隆之館長から委嘱状が交付された。

閉式後は子ども司書名札を掲示板に一人一人表示した。

矢祭子ども司書講座は、全国からの善意によって開館したもったいない図書館を拠点に、児童が全国からの善意に感謝の心を持って楽しく本に親しみ、豊かな心と将来に夢や希望をふくらませるとともに、図書館の仕事にかかわりながら、司書についてのノウハウを習得し友達や家族に対して読書のすばらしさを伝え、本と人との結びつきを手助けするリーダー養成を図る目的で開設した。

第一期は十四名、第二期は十九名、第三期は十五名、今年度第四期は十名の合計五十八名の子ども司書が誕生し、掲示板に名を連ねている。

今年度講座は六月九日に開講し、十三回にわたる受講で図書館と司書の役割について理解を深め、学校を超えた仲間と交流しながら楽しく学んできた。

【子ども司書認定者】
茂木萌々香（内川小六年）茂木菜々美（同四年）下重香菜子（東舘小五年）金澤美嘉（同）白坂彩夏（同四年）大木夢乃（同）丸山莉奈（石井小四年）菊池奏穂（同）熊田真央（同）塙莉愛（東舘小四年）。

上関河内区長に鈴木進氏

上関河内区会（近藤義隆区長）は三日午後一時半から健康ふれあい館で開き、二十五年度新区長に鈴木進氏、副区長に滑川裕之氏を選出した。また区会の席上、佐藤隆氏が農業委員選挙への立候補挨拶を行った。

死亡通知

母 丸山イネ 儀

三月三日午前十時五十四分 九十九歳の天寿を全うし永眠致しました
ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます
追って葬儀は三月六日 十二時（正午）より棚倉町『東白斎苑』において神式にて執り行ないます

平成二十五年三月四日

矢祭町大字内川字平都六五番地
喪主 丸山義一
石井マサエ
丸山正夫
黒木悟（きみ子）
藤田洋次郎（みとり）
寺田孝幸
外親戚一同

御喪家と同様のこころをもってご葬儀のお手伝いをいたします
家族葬・自宅葬等 自宅及び東白斎苑等の公設場所による葬儀施行
病院〜自宅迄の搬送等 花環・生花・盛り籠・返礼品
さわや ☎46−2033（夜間も同様）

御会葬御礼

亡父 大串久雄 儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御神饌料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます
早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

平成二十五年三月三日

矢祭町大字関岡字町一一二番地
喪主 大串肇
和田賢二
外親戚一同

御会葬御礼

亡父 石井定夫 儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます
早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

平成二十五年三月四日

矢祭町大字内川字高地原中三五番地一
喪主 石井浩幸
外親戚一同

全国二位の快挙讃える
押田洋平さん 主張発表優秀賞祝賀会

矢祭町商工会青年部（松本伸一部長）主催による商工会青年部主張発表全国大会で優秀賞（二位）を獲得した押田洋平さん（三四）の受賞祝賀会は、二日午後六時半から矢祭町商工会館で開いた。

同町、議会、商工会、青年部関係者ら約七十人が出席し開会、商工会青年部宣言、誓いの言葉、松本部長挨拶、高信一則町商工会長挨拶、来賓祝辞で県北・北海道ブロック代表となる全国大会への出場を勝ち抜き、二位となった快挙を讃えた。

押田さんは東北・北海道ブロック大会での一環として、全国六ブロック代表のトップを切り「青年部活動と地域振興・まちづくり」～つづく～「復興に込めた思い」～「復興への願い」をテーマに、一番目というプレッシャーをはねのけ郷土愛の心や情熱を込め表現力も豊かに迫力ある堂々とした発表を行った。

スクリーンで主張発表の模様や大会で矢祭町を紹介及び日頃の押田さんの活躍ぶりを収録したDVDを上映した。

次に押田さんが登壇し「最優秀賞になって恩返しをしたい」と思っていましたが「小さな町でも出来るんだと、みんなで苦労をわかち合って取った賞です。青年部の仲間と一つの目標に向かって進んだ姿は"絆"そのものです。これからも地域の一員としてもつくりに少しでもつながるよう努力いたします」と謝辞を述べた。

引き続き祝宴に入り松本部長挨拶、菊池清文議長の音頭で乾杯し、押田さんを囲んで優秀賞を祝い合った。

会場には押田さんを応援する横断幕、観光や青年部活動をPRするのぼり旗を設置して、全国大会において矢祭町の印象を高めてきたことも紹介した。

応援横断幕・のぼり旗、DVD披露

農業委員選挙あす告示
立候補者は予定通り、十二人で無投票の公算

任期満了に伴う矢祭町農業委員選挙は、あす五日告示され、午前八時三十分から役場会議室で立候補届出を受付ける。

選挙定数十二人に対し、定数通り十二人（現七・新五）が立候補を予定しており、同日午後五時締切りで無投票になる公算が強い。

農委選有権者は二月十九日現在で千八百十人（男九百六十二人、女八百四十八人）となっている。

≪立候補予定者≫

◎中石井地区　松永芳雄（五九）現
◎下石井地区　小貫正勝（六〇）新
◎戸塚地区　小松一郎（六〇）現
◎山野井地区　金沢周平（六五）新
◎篠田館地区

鈴木通弘（六八）現
◎宝坂地区　益子修一（六六）現
◎小田川地区　加藤明（六七）現
◎下関河内地区　小井戸正和（六〇）現
◎上関河内地区　佐藤隆（六四）新
◎関岡地区　菊池邦夫（六六）新
◎菊地勝地区　真木野孝行（六〇）現
◎内川地区　古市（六二）新

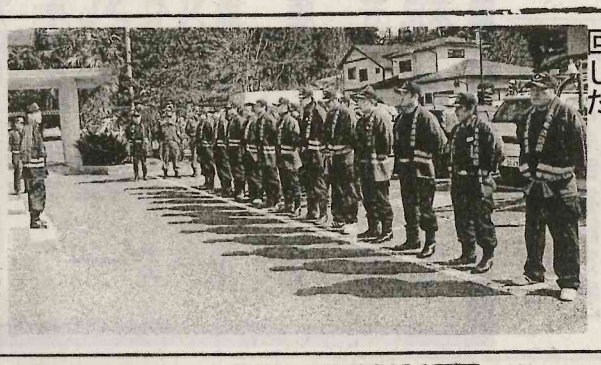
▼所得申告相談会あす＝高城構造改善センター（真木野区対象）

火災予防運動
町内パレード

春季全国火災予防運動は三月一日～七日まで「消すまでは出ない」「離れない」を統一標語に実施されている。

この運動の一環として町、消防団、矢祭分署では三日午後一時半から町内全域防火パレードを実施した。

火災が発生しやすい空気が乾燥した時期なのを呼び「火の用心」を行う広報活動を行った。



新一分署長ら署団員、町消防担当課から二十五人が参加し、広報車二台、消防車四台が二班に分かれて町内を巡回した。

鈴木桂語団長、薄葉

— 感謝の心 —

家族葬・一般葬・社葬等あらゆるご葬儀に対応
事前相談やお見積りは無料です
詳しい資料がほしい方、ご連絡下さい
係りがお伺いいたします

もしもの時は
永遠（とわ）の会がお役に立ちます

お約束　どこにも負けない豪華な葬儀
どこにも真似の出来ない低価格

あなたの街のメモリアルホール
大国屋塙斎場
葬祭の　株式会社大国屋
塙町桜木町１９８－３
☎４３－０１２２(代)
daikokuya. co

ＪＡ斎苑　やすらぎの杜
ご葬儀に関するすべてのご相談・お見積は無料です。
お気軽にお問い合せ下さい。
３６５日　２４時間受付致します
霊柩車・２４時間病院～自宅まで
TEL 0247－33－1059
棚倉町大字塚原字上野越（１１８号バイパス沿い）
家族葬・一般葬・社葬・自宅葬・お通夜会場・法要会場・法事
安心と信頼のサービス
総合葬祭『ＪＡやすらぎの会』
随時・会員募集中
（株）ＪＡ斎苑やすらぎの杜
ゆったり１２０台収容駐車場完備

しぼりたて純米生酒
伝統名酒
南郷
新玉の酒

販売価格
1.8L詰　二、四四〇円
720ml詰　一、二二〇円
合名会社　藤井酒造店
電話　四六－三一〇一